

## 協会会計（船員保険）と国会計との合算ベースでの平成26年度決算

- 平成26年度の協会会計（船員保険）と国会計との合算ベースの決算は、29億円の黒字。収入及び支出の内訳を見ると、
    - ① 収入は、保険料収入が359億円、国庫補助金等が30億円、職務上年金給付費等交付金が61億円等により合計が473億円。
    - ② 支出は、保険給付費が259億円、後期高齢者支援金等の拠出金等が117億円、介護納付金が34億円、業務経費・一般管理費が36億円により合計が445億円。
  - 29億円の黒字を部門別に見ると、疾病部門が23億円、災害保健福祉部門が6億円の黒字。また介護保険分が2億円の赤字、職務上年金給付費等交付金を財源とする経過措置分が1億円の黒字<sup>(注)</sup>となっている。
- (注) 職務上年金給付費等交付金は、平成21年12月以前の職務上の事由による傷病を原因とする年金給付費（経過措置）等の財源するために国から交付されているものであり、1年分を概算額で受け、給付実績に応じて精算する仕組みとなっている。当該交付金について受入超過（黒字）となった場合は、翌年度に当該交付金の受入超過分を返還し、受入不足（赤字）となった場合は不足分について翌々年度に追加交付される。
- 平成26年度末における準備金残高は、疾病部門が228億円、災害保健福祉部門が174億円。

### 【船員保険全体】

(単位：億円)

	25年度決算 (a)	26年度決算 (b)	差額 (b)-(a)	対前年度増減率
保険料収入	351	359	8	2.2%
国庫補助金等	30	30	0	1.0%
職務上年金給付費等交付金	63	61	△2	△3.4%
その他	23	24	1	5.1%
収入計	466	473	7	1.5%
保険給付費（医療給付・現金給付等）	262	259	△3	△1.3%
拠出金等	123	117	△7	△5.4%
介護納付金	33	34	0	0.9%
その他（業務経費・一般管理費等）	44	36	△8	△18.9%
支出計	463	445	△18	△3.9%
収支差	4	29	25	
準備金残高	390	404	13	

(注) 1. 端数整理により計数が整合しない場合がある。

2. 船員保険全体の準備金残高には、介護保険分や職務上年金給付費等交付金を財源とする旧職務上年金給付等分の累積収支差を含む。
3. 収入のその他には、被保険者の疾病保険料率軽減分に充てるための準備金取り崩し15億円が含まれている。

【疾病部門】

(単位 : 億円)

	25年度決算 (a)	26年度決算 (b)	差額 (b) - (a)	対前年度増減率
保険料収入	288	295	7	2.5%
国庫補助金等	30	30	-	0.0%
準備金戻入	15	15	0	1.0%
その他	1	1	△0	△12.5%
収入計	334	341	7	2.2%
保険給付費	196	195	△1	△0.4%
医療給付費	169	168	△1	△0.6%
現金給付費	27	27	0	0.8%
拠出金等	123	117	△7	△5.4%
前期高齢者納付金	45	41	△4	△9.4%
後期高齢者支援金	65	64	△1	△1.1%
老人保健拠出金	0	0	△0	△6.7%
退職者給付拠出金	13	12	△2	△12.5%
その他(業務経費・一般管理費等)	6	6	0	1.1%
支出計	325	318	△7	△2.3%
収支差	9	23	15	
準備金残高	220	228	8	
(うち被保険者保険料軽減分)	163	148	△15	

(注) 被保険者の疾病保険料率軽減分に充てるため、準備金15億円を取り崩している。

【災害保健福祉部門】

(単位 : 億円)

	25年度決算 (a)	26年度決算 (b)	差額 (b) - (a)	対前年度増減率
保険料収入	31	32	1	2.3%
国庫補助金	0	0	0	291.6%
その他	6	7	1	20.0%
収入計	37	39	2	6.0%
保険給付費	20	20	△0	△0.7%
医療給付費	17	16	△1	△5.9%
現金給付費	3	4	1	31.0%
その他(業務経費・一般管理費等)	12	13	1	7.7%
支出計	32	33	1	2.5%
収支差	5	6	1	
準備金残高	168	174	6	

# 船員保険の平成26年度決算(合算ベース)の全体像

